



# くらしき地域 普及指導センターだより2022

## トづくり産地づくりブランドづくり



## 表紙の写真説明

(左上)  
就農オリエンテーションで  
産地紹介



(右上)  
スイートピーの新商品開発



(中央上)  
もも「清水白桃」



(左中央)  
ドローンによる緑肥は種



(右中央)  
ももの摘果講習会



(左下)  
専門家による経営相談会



(中央下)  
船穂産のスイートピー



(右下)  
後継者クラブの  
資質向上研修



## 裏表紙の写真説明

(左上)  
ハダニ類の発生調査



(右上)  
晴れの国おかやま  
就農相談会



(左下)  
稲作研究会  
相互訪問研修



(右下)  
スイートピーの  
生育調査



# 目次

## ●特集

ももの供給力強化に取り組みました…………… 1、 2

## ●力を入れています！

被膜殻の残らない被覆肥料の現地実証（2年目）…………… 3

直播栽培の収益性向上対策へ「たちはるか」の導入検討…………… 3

水田農業の担い手を育成しています…………… 4

天敵製剤でハダニ類を抑制…………… 4

「シャインマスカット」の房形改善～ジベレリン満開期一回処理～…………… 5

倉敷市農業後継者クラブ員、レンコン経営を学ぶ…………… 5

いちごの産地力アップ大作戦…………… 6

土壌改良資材で9月以降の収量アップを目指せ…………… 6

スイートピー産地の継続的な発展をめざして…………… 7

就農支援、がんばっています！！…………… 7

乾田直播栽培で稲 WCS を栽培して畜産農家と連携…………… 8

認定農業者・新規就農者の経営改善に向けて

専門家が無料でアドバイスします！…………… 8

戦略とマーケティングで成功をつかもう…………… 9

## ●新しく農業を始めます！どうぞよろしくお願ひします…………… 9、 10

## ●受賞おめでとうございます

黄綬褒章…………… 1 1

日本農業賞 大賞…………… 1 1

農林水産祭 日本農林漁業振興会会長賞…………… 1 1

矢野賞…………… 1 1

岡山県農林漁業近代化表彰…………… 1 1

岡山県農林漁業功労者表彰…………… 1 2

豊かなむらづくり全国表彰…………… 1 2

岡山県うまいくだもの共進会オーロラブラックの部 岡山県知事賞…………… 1 2

倉敷市農業祭 農林水産業功労者表彰…………… 1 2

# 【特集】ももの供給力強化に取り組みました

玉島北園芸協会桃部会、浅原園芸組合（倉敷市）  
吉備路もも出荷組合（倉敷市、総社市）、総社もも生産組合（総社市）

倉敷地域には4つのもも生産組織があり、県の栽培面積の約3割を占めていますが、生産者の高齢化、栽培面積の縮小が進み、供給力の低下が懸念されています。そこで、普及指導センターでは平成29年から担い手の確保や大規模経営体の育成などによる供給力の強化に取り組み、面積は維持・拡大傾向に転じてきました。この流れを一層進めていくため、次の3項目について重点的に取り組みました。

## 1 新規就農者の早期経営確立

倉敷地域では、ももでの就農希望が多く、平成30年から5年間で31人が新規に就農しており、担い手の確保は順調に進んでいます。

普及指導センターは、市、JAと連携したサポートチームで定期的に新規就農者を訪問し、就農状況を確認するとともに経営改善に向けた対応策をアドバイスしています。また、早期の技術習得に向けて、各産地で初心者栽培講習会を実施しました。さらに、4産地合同の栽培研修会を開催し、大規模農家の取組事例を学ぶとともに、産地間交流を図りました。

繁忙期が一段落した秋から冬にかけて、簿記や労務管理などの経営研修会を開催し、適切な処理を学ぶことによって、経営に対する意識啓発や実務処理能力の向上を図っています。引き続き、新規就農者の早期経営確立を目指して活動していきます。

## 2 園地確保体制の整備

玉島北や浅原、吉備路では就農できる園地が少なく、園地確保が課題となっています。そのため、高齢化などで使われなくなった園地の流動化に向け、情報収集をしています。

また、玉島北では新規就農者向けにまとまった園地を確保するため、団地化の検討を行っており、どの地区に、どのような事業が活用可能かを検討しています。



サポートチームによる新規就農者訪問



簿記研修会の様子



部会役員と関係機関で候補園地調査

この取り組みを進めるため、10月には総社もも生産組合組合長にハイブリッドメダ生産団地の取り組みを事例紹介してもらい、部会や関係者の意識醸成を図りました。

### 3 大規模経営体の育成

令和3年度に作成した経営モデルでは、新規就農者がももで生計を立てるためには当面1ha、将来的に1.5ha以上の栽培面積が必要という試算を立てており、それに基づき就農相談をしています。また、実際に大規模経営の事例を見聞する機会を設け、必要性を認識してもらっています。

さらに、収穫期の労働分散を図るため各地の晩生品種の課題に取り組みました。玉島北では、収穫適期が分かりにくい「白皇」、「恵白」に音響振動装置を使って判断する実証を行いました。

吉備路では、「冬桃がたり」の肥大の年次変動調査や、総社では、「桃水」の落果や果梗内亀裂小果（イモ果）の発生状況を確認し、品種特性の把握を進めています。

また、大規模化に伴い、作業場は必須となり、求められる作業場の条件を明らかにするため、事例調査を行いました。この結果を今後の就農相談時に活用していく予定です。

### 4 まとめ

もも栽培者数はこの6年で1割以上減少しましたが、1ha以上の大規模経営体は増加傾向にあり、新規就農者がこれからのもも産地を担う中心的な経営体に育っています。また、令和4年度は大きな病虫害や災害は少なく、ももは豊作年となり、新規就農者の多くが就農計画の収量目標を達成しました。

普及指導センターでは今後も新たな団地化や晩生品種の特性調査などももの新規就農者の確保育成に取り組む予定です。



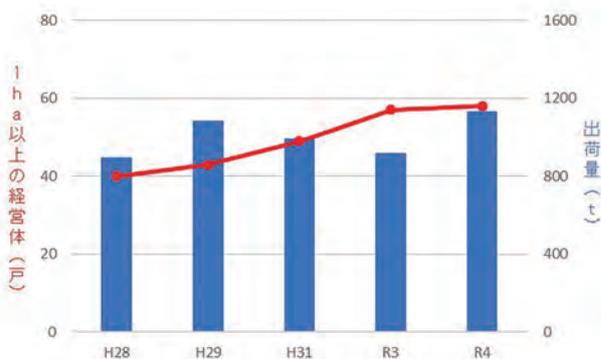
ハイブリッドメダ生産団地の事例調査



音響振動装置の操作を説明



作業場の聞き取り調査



倉敷地域の大規模経営体数と出荷量

## 被膜殻の残らない被覆肥料の現地実証（2年目）

### グリーンな栽培体系への転換サポート（倉敷市）



水稲被覆肥料の被膜殻流出防止対策の一つとして期待される、硫黄コートとウレアホルム肥料の現地実証を倉敷市茶屋町で行っています。硫黄コート肥料は2年目となりますが、硫黄成分の土壌中の残存蓄積は認めませんでした。

「アケボノ」で慣行の被覆肥料と比較した結果、収量は91%、98%で品質はともに1等となりました。これは肥効が早く現れ生育後半の登熟期に肥効が切れたのが要因と考えます。今後も、新しい銘柄や年次変動を確認し、被膜殻流出防止の取組を進めていきます。

#### 生育・収量・品質調査結果

試験区分	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m <sup>2</sup>	一穂 粒数	登熟 歩合 %	千粒 重 g	精玄 米重 kg/10a	検査 等級 等
硫黄コート肥料	96.0	17.9	388	68	89.8	24.6	539	1
ウレアホルム肥料	91.9	18.0	411	60	86.5	25.3	579	1
慣行被覆肥料	94.3	18.4	352	68	88.8	24.7	592	1



上：硫黄コート  
下：ウレアホルム

## 直播栽培の収益性向上対策へ「たちはるか」の導入検討

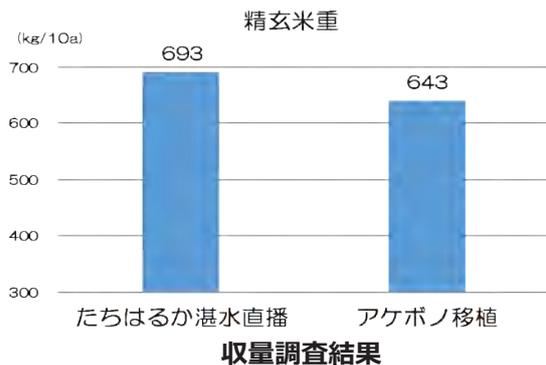
### 吉備路水田農業大規模経営体ネットワーク（管内全域）



米生産における収益性の向上を目的に、直播栽培における水稲多収性品種「たちはるか」の安定生産性を検証しました。昨今の米価下落や肥料高騰による生産コストの増大により米生産の収益性は悪化しており、省力低コスト化を図ることができる直播栽培と多収性品種の組み合わせにより、収益性の改善が期待できます。令和3年度は乾田直播で実証し良好な結果が得られましたが、令和4年度は湛水直播で安定生産性を検討したところ対照のアケボノ移植栽培より多収となりました。今後も、省力低コスト化技術や多収性品種の導入を図っていきます。



「たちはるか」の湛水直播ほ場（総社市山田）



## 水田農業の担い手を育成しています

倉敷地方稲作研究会・集落営農組織（管内全域）



米価下落や資材高騰により、稲作農家は窮地に立たされていますが、そんな中でも独自の工夫で安定経営を目指す農家があります。普及指導センターは、担い手に逆境を乗り切るヒントを得てもらうため、倉敷地方稲作研究会や新規の集落営農組織を対象に、優良経営体を訪問する研修会を開催しました。研修では活発に情報交換が行われ、研修参加者からは、「たいへん参考になった」との声が聞かれました。

今後も研修会や個別指導を行い、水田農業の担い手を育成していきます。



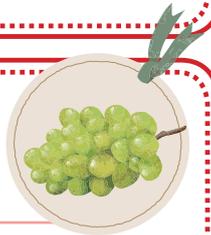
倉敷地方稲作研究会での相互訪問研修



服部営農組合での視察研修

## 天敵製剤でハダニ類を抑制

J A 晴れの国岡山船穂町ぶどう部会（倉敷市）



倉敷市船穂町のぶどう産地では、「マスカット・オブ・アレキサンドリア」や「シャインマスカット」などの施設栽培が盛んに行われており、ハダニ類の対策が課題になっています。

そこで、ハダニ類の天敵であるミヤコカブリダニを利用した天敵製剤を設置し、抑制効果を確認しました。今年は高温乾燥傾向で、ハダニ類が発生しやすい条件でしたが、調査園地ではハダニ類の拡大を抑制することができました。天敵への影響を考慮した農薬の選択などのハードルはありますが、ハダニ類による被害の減少が期待されます。



ハダニ類の発生調査

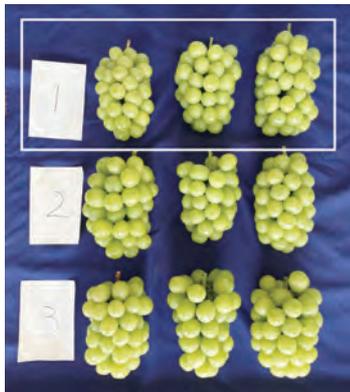


## 「シャインマスカット」の房形改善～ジベレリン満開期一回処理～

真備ぶどう生産組合（倉敷市）

倉敷地域では、「シャインマスカット」の生産量が増加しています。しかし、小果梗の間伸びによって房形が乱れやすく、上位等級比率の伸び悩みに繋がっています。そこで、房形改善技術を確立するため、8年生の樹を用いて、ジベレリン満開期一回処理を実証しました。

その結果、果粒重は慣行の2回処理に比べやや小さいものの、小果梗が短いため、肩までしっかり巻いたコンパクトできれいな房形になりました。引き続き、さらなる品質向上を目指し、高糖度栽培技術などを検討することとしています。



処理ごとの果房の外観  
(1：満開期一回処理)

ジベレリン満開期一回処理が果実品質に及ぼす影響  
(簡易被覆栽培、9月22日調査)

処理区	処理方法		果房重 (g)	果粒重 (g)	小果梗長 (mm)	糖度 (° Brix)	
	花穂発育処理	ホルモン濃度 (ppm)					
①	GA 1回	あり	GA25(F10)	755.2	16.0	16.2	17.1
②	GA 2回	あり	GA25(F5)+GA25	808.1	18.4	22.1	16.8
③	GA 2回 (慣行)	なし	GA25(F5)+GA25	878.7	18.6	23.9	17.3

※GA：ジベレリン、F：フルメット

## 倉敷市農業後継者クラブ員、レンコン経営を学ぶ

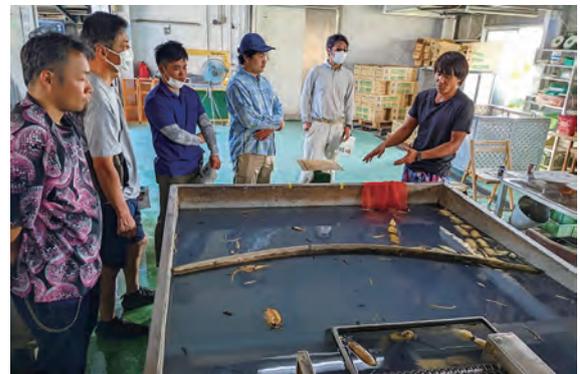
倉敷市農業後継者クラブ（倉敷市）



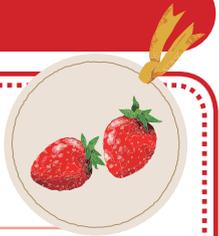
倉敷市農業後継者クラブ（岡本和正会長）は、9月26日、クラブ員でもあり、令和4年度矢野賞を受賞された高橋幹雄氏を訪問、明治から続く連島地区のレンコン栽培について学びました。

クラブ員の大半は果樹農家で規模拡大志向であることから、高橋氏が取り組んでいる法人化、外国人研修生を用いた労働力確保について関心が寄せられました。またレンコンのオフシーズンである6、7月の余剰労力を果樹で生かせないかなどのお話が出ました。

もものイノシシ被害、レンコンのカモ食害の低減に向けて、クラブが倉敷市猟友会と連携して取り組んでいるプロジェクトについても、お互いの対策状況とその結果を共有するなど、品目の垣根を越えて、多方面から農業経営を見つめる良い機会となりました。



作業場で高橋氏から説明を受けるクラブ員

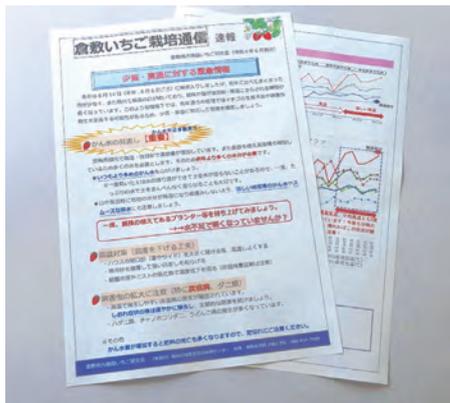


### いちごの産地力アップ大作戦

倉敷地方施設いちご研究会（倉敷市、総社市）

倉敷地域のいちご生産者は、出荷形態（市場や観光農園など）も栽培方式（土耕、様々な高設栽培）も多種多様ですが、情報誌の発行、管内外の視察研修会や共進会などの活動を通じて生産技術の向上や会員同士の交流などによる産地力の向上を図っています。

コロナ禍で交流機会が減少するなどの課題がありますが、より有効な活動方法について検討し、さらなるいちご産地の活性化を目指していきます。



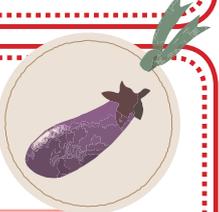
栽培情報誌「いちご通信」



相互現地研修会

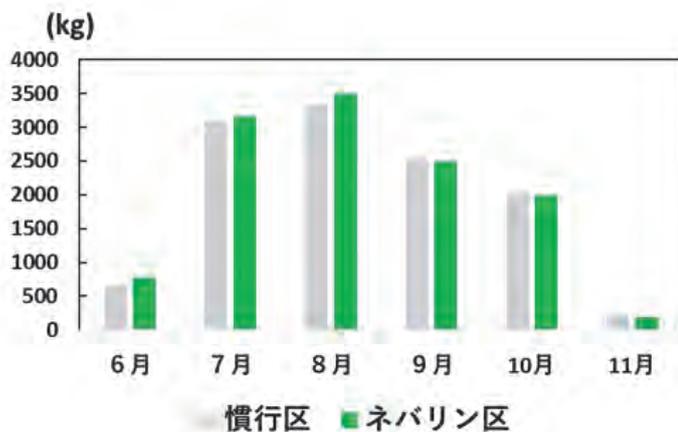
### 土壌改良資材で9月以降の収量アップを目指せ

吉備路夏秋ナス生産出荷組合（総社市、倉敷市）



吉備路夏秋ナス生産出荷組合では、出荷最盛期の8月中旬以降に樹勢が弱くなり始め、9月の収量及び品質が低下してしまうという課題があります。そこで、令和3年度から土壌改良資材「ネバリン」の施用による収量向上の効果を実証しています。

令和3年度の結果は収量が慣行区より約450kg/10a多くなりました。令和4年度は、2年連作する場合における本資材の連続施用効果を検討し、収量が慣行区より240kg/10a多くなり、2年ともネバリン区の方で収量が増加しました。今後は9月以降も増収する効果的な「ネバリン」の使い方について検討していきます。



令和4年度 月別収量 (kg/10a)  
(出荷期間：6/11～11/11)

# 力を入れています！

## スイートピー産地の継続的な発展をめざして

### J A 晴れの国岡山船穂町花き部会（倉敷市）



普及指導センターは、産地が抱える課題解決に向け、部会、関係機関と連携して倉敷市船穂スイートピー産地戦略を策定し、産地戦略に沿った活動を展開しています。

①部会の Instagram などの活用によるブランドの確立・需要拡大、②実需者ニーズに合った染め商品の開発、③環境計測器の活用による最適環境の探索、新規栽培者用栽培マニュアルの作成などによる生産量の確保に取り組み、産地を継続的に発展させていく機運が醸成されています。今後、統合環境制御の普及・拡大、新規栽培者受け入れ体制の再構築などを進めていきます。



部会品種カタログ（Instagram）



新商品の開発



新規栽培者用  
スイートピー栽培マニュアル

## 就農支援、がんばっています！！

### 就農希望者（管内全域）



令和4年度から、就農オリエンテーションに参加された希望者に対し、関係機関と連携しながら産地とのマッチングを図るための交流会や個別就農相談を行ったところ、研修制度活用前に必要な、就農に関する互いの意思疎通に好影響を与えています。

また、with コロナの流れに乗るため、県内外の就農相談会やオンライン個別相談に積極的に参加し、より多くの就農希望者に倉敷地域の農業の魅力を発信するとともに、具体的な個別相談も行っています。



産地とのマッチング中の希望者に対応中

## 乾田直播栽培で稲 WCS を栽培して畜産農家と連携

藤戸地区（倉敷市）



倉敷地域では、総社市と倉敷市で約 36ha の稲 WCS を栽培しています。輸入飼料の価格高騰の影響を受け、耕畜連携による国内の飼料生産に一層力を入れています。

稲 WCS を生産している山本さんは稲 WCS を 6.6ha、飼料用米 10ha、主食用米 6ha を生産しています。稲 WCS は約 14 年前に山本さんが市内で初めて取組を始めました。基本的に一人で作業をするため、何度も試行錯誤を繰り返し、超省力化・低コストを図ってきました。収量は 2t/10a と地域の平均収量並で、農地を集積しながら規模拡大を図っています。連携先である酪農家には好評で、現在 81 歳の山本さんは、続けられるうちは稲 WCS を生産したいと話していました。



収穫前の稲 WCS と山本義弘さん

県民局畜産班では、県内産飼料の増産をめざし、耕種農家と畜産農家とのマッチングに力を入れています。

（注）稲 WCS：水稲の子実及び茎葉を同時に収穫し、発酵調製した飼料。

認定農業者・新規就農者の経営改善に向けて  
専門家が無料でアドバイスします！

認定農業者等（倉敷、井笠地域）



岡山県農業経営・就農支援センター（岡山市東区竹原、三徳園内）では、農家などの悩み事や要望に応じて、専門家による無料相談を受け付けています。

管内では、令和 3 年度は 7 件（水稲 1 件、果樹 4 件、花き 1 件、6 次化 1 件）、令和 4 年度は 11 月までに 9 件（集落営農等 8 件、6 次化 1 件）の個別相談を受けました。主な相談内容は、経営移譲準備、雇用管理、法人化準備、法人運営などでした。今後も、経営上で「ちょっと相談したいな」と思われる方は、お気軽に普及指導センターへお問い合わせください。



専門家による経営相談の様子



農業経営・就農支援センターのパンフレット

## 戦略とマーケティングで成功をつかもう

### 6次産業化経営体等（倉敷、井笠地域）



倉敷、井笠地域で6次産業化等に取り組んでいる農林漁業者を対象に、「倉敷・井笠地域農林水産業ビジネス研修会」（全2回）を開催し、19名（倉敷10名、井笠9名）が受講しました。

専門家を講師に「農林水産業でしっかり儲ける経営戦略」「お客様のハートをつかむマーケティング」と題して講義と演習を行い、参加者は、我が家のSWOT分析を基に方針決定をする演習やマーケティング企画実習を通して、今後の取組について考えを深めました。



専門家の講義



演習に取り組む参加者

## 新しく農業を始めます！どうぞよろしくお祈いします



©岡山県  
「ももっち」

\* 令和4年2月～令和5年1月までに新規就農者として市、町から報告のあった人を掲載しています。



小倉龍也さん

〔倉敷市、ぶどう・野菜〕

たくさんの方に認知してもらえるようなおいしくて安全なぶどうと野菜を作ります。



岡村和宏さん

〔倉敷市、もも〕

一生懸命勉強し、家族仲良く、美味しいももづくりに励みます。



河嶋祥吾さん

〔倉敷市、もも〕

美味しいももをたくさん作って、喜んでもらえるように頑張ります！



小松昌平さん

〔倉敷市、ぶどう〕

産地の方と協力して盛り上げていけたらと思います。

# 新しく農業を始めます! どうぞよろしくお願ひします



貝原直斗さん

〔倉敷市、  
枝豆・黒大豆〕

倉敷市の枝豆を全国に認知してもらえるように頑張ります。



山下洋輔さん

〔倉敷市、もも〕

気候変動に負けないおいしいももづくりを目指します。



小谷明さん

〔倉敷市、もも〕

昨年より収入2.5倍アップを目指します。



藤井彰一さん

〔倉敷市、  
枝豆・ブロッコリー〕

新鮮で美味しい野菜で地域貢献!! 楽しく野菜作りをしていきます。



浅野慎之佑さん

〔倉敷市、  
スイートピー〕

高品質なスイートピーを作りたいです。



片岡かおりさん

〔倉敷市、ぶどう〕

真備町ぶどう栽培の技術を継承できるよう頑張ります。



大山暁史さん

〔倉敷市、  
スイートコーン・  
キャベツ・玉ねぎ〕

大切に育てた野菜を皆様にお届けしたいです。



大賀貴弘さん

〔倉敷市、水稲〕

皆さんの食卓に美味しいお米をお届け出来るよう、様々な栽培技術に挑戦していきます。



難波頌治さん

〔倉敷市、  
もも・レモン〕

岡山のものを守ります!!



塩田賢一さん

〔総社市、ぶどう〕

日々勉強。消費者に喜ばれるぶどうを一生懸命作ります!



小西和人さん

〔総社市、ぶどう〕

消費者に喜ばれるぶどうを作れるように頑張ります。



土屋義典さん

〔総社市、もも〕

先輩方の背中を追いかけて、早く一人前のもも農家になれるよう頑張ります!

# 受賞おめでとうございます

## 黄綬褒章

### 渡邊常吉さん（倉敷市）

昭和 58 年、一般企業に勤務の傍ら始めたもも（白桃）栽培を徐々に増やし、平成 5 年に専業農家になりました。その後拡大園地の集積や整備により省力化機械や新技術を導入していきました。

多品種栽培にも取り組むことで収穫期分散を図り、県内トップクラスの経営規模・高品質・長期出荷で安定的な経営を実現しており、同様に一から始める新規就農者の目標となっています。

岡山県の果樹研究会もも部会長や県農業士としても活躍し、県下のもも栽培を牽引してきました。地域においても玉島北園芸協会の担い手確保育成や出荷体制整備に尽力し、産地活性化とブランド強化に貢献しています。



## 日本農業賞 大賞 農林水産祭 日本農林漁業振興会会長賞 JA 晴れの国岡山船穂町ぶどう部会（倉敷市）

「マスカット・オブ・アレキサンドリア」の栽培で培った高い栽培技術を「シャインマスカット」に応用し、消費者の贈答用ニーズに対応した高品質生産を実現しており、早期加温主体の優良産地として高く評価され、全国でもトップクラスの産地となっています。また、担い手への技術継承や天敵導入による農薬削減等が行われており、産地全体でさらなる産地力強化に取り組んでいます。



## 矢野賞

### 高橋 幹雄さん（倉敷市）

実家のれんこん経営を継承後、順調に規模を拡大し、県内トップクラスの収量と高品質生産を実現しました。さらに自ら顔の見える生産者として積極的に PR に取り組むなど、連島れんこんのブランド化に尽力し、産地の維持拡大にも貢献したことが高く評価されました。

地域では、小学校でのれんこん栽培体験等、食農教育に力を入れる他、若手れんこん生産者グループを結成するなど産地活性化にも取り組まれています。



## 岡山県農林漁業近代化表彰

### 秦果樹生産出荷組合（総社市）

昭和 31 年から続く歴史あるぶどう産地で、近年では消費者ニーズに対応したぶどう品種を戦略的に導入することで高単価販売を実現しています。

また、担い手不足の課題解決に向け、「担い手チーム」を結成し、新規就農者の確保、園地の流動化、技術の継承に取り組んでいます。



## 岡山県農林漁業功労者表彰 知事表彰

木下 良一さん（倉敷市）

全国に先駆けてスイートピーの統合環境制御に取り組み、高品質安定生産を実現し、若手中心に統合環境制御に向けた取組が進んでいます。また、部会長時にスイートピーの主産県の生産者、関係機関、花市場で構成される「日本スイートピーの会」の設立を推し進め、船穂スイートピーの知名度向上に貢献しています。農業士としても、新規栽培者の育成に尽力され、3名を就農に導いています。



## 岡山県農林漁業功労者表彰 農林水産部長表彰

板敷 隆史さん（総社市）

もも 10 品種以上の大規模経営を実現し、産地の模範となっています。また、これまで実務研修生を 4 組受け入れ、組合長としても、選果基準や品種構成を見直すなど産地力強化に貢献しています。



## 岡山県農林漁業功労者表彰 農林水産部長表彰

北村 明成さん（倉敷市）

部会長として、関係機関と連携し、マーケティング戦略を策定し、船穂スイートピーのブランド力強化を図っています。就農アドバイザーとして担い手の確保・育成に尽力しています。



## 豊かなむらづくり全国表彰 中国四国農政局長賞

農事組合法人 山田営農組合（総社市）（写真左：金澤組合長）

平成 23 年に総社市で初めての集落営農法人として設立し、「耕作放棄地の解消」「食料の安心安全」「雇用の創出」を経営理念に、水稻・麦の他、ナタマメの生産加工などを行っています。また、地域との交流を大切にし、地区住民と一体となったむらづくりに取り組んでいます。



## 岡山県うまいくだもの共進会 オーロラブラックの部 岡山県知事賞

浅野 貴行さん（倉敷市）

加温栽培主体で品質の高さを重視した栽培を行っており、「外観がきれいで、美味しいぶどう生産」を実現しています。令和 4 年は、船穂町ぶどう部会のアレキ部長を務め、マル船ブランドの向上にも貢献しています。



## 倉敷市農業祭 農林水産業功労者表彰

木下 良一さん（倉敷市）

農業士として、先進的な取組である統合環境制御や B C P（令和 3 年度認定）について講演を行うなど地域農業の発展に貢献しています。産官学連携による落蕾軽減技術実証に取り組み、スイートピーの安定生産に貢献しています。





## 岡山県備中県民局農林水産事業部

### 備南広域農業普及指導センター

〒710-8530 岡山県倉敷市羽島 1083 番地

☎ (086) 434-7047 (革新農業推進班)

☎ (086) 434-7048 (担い手・農産班)

☎ (086) 434-7049 (園芸班)

FAX (086) 421-8253

メール [kura-fukyu@pref.okayama.lg.jp](mailto:kura-fukyu@pref.okayama.lg.jp)

H P <https://www.pref.okayama.jp/soshiki/95/>

### 農畜産物生産課

☎ (086) 434-7033 (畜産第一班)

FAX (086) 425-4921



©岡山県「ももっち・うらっち」